

令和8年度やまがた農業ビジネス塾の概要について

1 目的

農業従事者の減少と高齢化が進行している中、本県農業を維持・発展させていくためには、新たな担い手を確保するとともに、生産力・収益性が高く、競争力の強い、地域づくりや人づくりができる経営体の育成が重要である。

そのため、スマート農業の導入、多様な人材の活用、労働環境の改善、新たな販路の開拓など、地域農業を牽引する経営者に必要なスキルを学ぶ場として、「やまがた農業ビジネス塾」を開講する。

※ トップランナー：経営者1人当たりの農業所得400万円以上（農産物販売額が1,000万円以上）の農家及び農業法人

※ スーパートップランナー：経営者1人当たりの農業所得800万円以上（農産物販売額が3,000万円以上）の企業的経営を
実践する農業法人

2 受講生

13名（内訳：村山地域5名、最上地域1名、置賜地域5名、庄内地域3名）

※生産力・収益性の向上を目指すとともに、次のいずれかの目標に向けて取り組んでいる若手農業者等（概ね50歳以下）。

- ・法人化
- ・労働環境の改善
- ・多様な人材の活用（女性の経営参画や農福連携等の取組み）
- ・地域農業や地域社会に貢献する農業の実現
- ・スマート農業技術の導入

3 研修内容

（1）カリキュラム

- ①経営管理：リーダーシップ論、地域農業・地域社会に貢献する経営のあり方、GAPに関する講義・演習
- ②労務管理：働き方改革、多様な人材の活用、財務管理、就業規則、社会保険に関する講義・演習
- ③マーケティング：商品開発・販路開拓、web販売、6次産業化等に関する講義・演習
- ④事業計画：事業計画・経営戦略（地域への貢献を含む）に関する講義・演習
個別指導による計画の策定・発表
- ⑤スマート農業：概論、最先端技術の事例研究、ICT管理ツールの活用法に関する講義・演習
（スマート農業を導入している先進農業法人等への現地視察を含む）
- ⑥その他：修了生による講義（技術の導入事例、事業計画の取組み状況）など

（2）研修期間 令和8年7月から令和9年3月まで（延べ10日間程度）

（3）研修時間 75時間程度（DVD聴講、事業計画策定の個別指導を含む）

4 修了証

カリキュラムの80%以上を受講し、事業計画を策定・発表、提出した場合に交付

※本講座を欠席した場合でも、動画による補講又は個別指導を受けた場合、出席したものとみなす。